

Swisscom AG

Voltage を使用した「サービスとしてのデータ暗号化」により複雑な環境の 1,000 万件におよぶ機密の顧客レコードを保護。



Swisscom AG について

Swisscom は、携帯通信サービス、固定ネットワーク、インターネット、デジタル TV ソリューションを企業や個人の顧客に提供しています。スイス最大級の IT サービスプロバイダーでもあります。

アプリケーションに影響を与えないデータ中心のアプローチ

Swisscom が社内監査を行ったところ、同社のサービスプロビジョニングとフルフィルメントシステムに保持されている顧客データの一部にサイバー攻撃を受けるリスクが判明したため、経営陣は機密データの保護を義務化

「最初から経験豊富な統合パートナーと連携したことが成功の秘訣でした。Prewen には、最初の環境のセットアップからコンピテンスセンターのメンバーのトレーニングまで、さまざまな場面でサポートしてもらいました。彼らのサポートのおかげで、Voltage SecureData により、運用上の手間がほとんどかからない安定性の高いデータ中心のセキュリティソリューションを実現できました」

Dr.Klaus Brand
セキュリティ製品およびサービス担当
プロダクトマネージャー
Swisscom AG

しました。15 の主要なアプリケーションがアクセスする中央データベース内に 1,000 万件を超えるレコードがあり、その実行は容易ではありませんでした。Swisscom のセキュリティ製品およびサービス担当プロダクトマネージャーである Klaus Brand 博士は次のように述べています。「システム内のデータを暗号化するには、ビジネスクリティカルアプリケーションの根本的な再設計が必要になる可能性があります。当社ではシステムのパフォーマンスを低下させず、システムやプロセスも大幅に変更せずに、適切なデータセキュリティ戦略を定義したいと考えていました。信頼できるセキュリティパートナーである Prewen とさまざまな選択肢を評価した結果、データに関連するネットワーク、サーバー、データベース、アプリケーションを保護するのではなく、データの保護を重視した戦略を策定することにしました。この戦略を推進するにあたって Prewen が推奨したのが、Voltage SecureData です。データを中心とした Voltage SecureData は、データベースやアプリケーションに依存せず、保存中のデータも転送中のデータも保護することができるため、エンドツーエンドのデータ暗号化プラットフォームを構築できます。最も重要な点は、フォーマット保持型暗号 (FPE) という技術が利用されており、データ構造、スキーマ、アプリケーションに一切影響がないことです」

Prewen の指揮により実施された提案検証 (POC) では、Voltage SecureData by OpenText™ であらゆる問題に対処できることが示されま



概要

業種

電気通信

所在地

スイス

課題

パフォーマンス低下やシステムの変更なしに、15 の統合アプリケーションが利用する 1,000 万件の機密の顧客データセットを保護すること

製品とサービス

Voltage SecureData

成功ポイント

- 1,000 万件の機密の顧客レコードを保護
- プライベートクラウドベースのサービスとしてのデータ暗号化による拡張性と柔軟性
- 保存中と転送中のデータを保護するエンドツーエンドのデータ暗号化プラットフォーム
- 強固なインフラストラクチャによる高可用性
- 徹底的なデータ分析と段階的な導入によるリスクの軽減

「データフロー全体を包括的に把握していたので、一切変更作業を行うことなく Voltage SecureData をスムーズにアプリケーションに組み込むことができました。Voltage SecureData は、このような全社的な取り組みに適したエンタープライズ対応ソリューションです」

Dr.Klaus Brand

セキュリティ製品およびサービス担当プロダクトマネージャー
Swisscom AG

お問い合わせ

www.opentext.com



した。Voltage SecureData の導入が決定すると、Brand 博士のチームは Prewen と共同でコンピテンスセンターを設置し、統合ポイントを含めたすべてのデータ構造とフローについて徹底的に分析しました。これにより、誰がどのシステムのデータを必要としているかを判別するために、基盤となるビジネスプロセスを十分に把握できました。また、どのような場面で機密データをプレーンテキストで提示する必要がある、いつ暗号化できるかを見極めることができました。Voltage SecureData の「ソースで暗号化し、必要なときにだけ復号化」というモットーは、Swisscom の「Need To Know の原則」、つまり必要な人へのみデータへのアクセス権限を付与するという原則と一致しています。

段階的導入による影響 と潜在的リスクの軽減

Swisscom のこの取り組みは、経営陣の全面的な支援を必要とする全社的なプロジェクトでした。通常、Swisscom の各部門は自律的に IT に関する意思決定を行っていますが、この取り組みにおいては、予算の一元的な策定など、あらゆる事項がトップダウンで決定され、全部門で優先度の統一が図られました。全社的に機密データを保護するという共通の目標に向けてすべての部門が緊密に連携し、導入が進められました。Brand 博士のチームでは、「サービスとしてのデータ暗号化」のアプローチを採用することにしました。このアプローチにより、ソリューションの拡張性が高まるとともに、Swisscom 社

内の他のチームはそのインフラストラクチャを設置せずに暗号化を実現できました。

Swisscom は、フェールオーバー機能を実現するために地理的に離れた 2 か所に冗長性データセンターを設けて、それぞれにプライベートクラウドホスト型 Voltage SecureData 暗号化プラットフォームを導入しました。「当社では、Voltage SecureData の開発環境、導入前環境、本番環境を構築しました」と Brand 博士は言います。「エンドツーエンドのデータ暗号化を当社のエンタープライズ監視システムに統合し、障害復旧シナリオを含めて徹底的なテストを実施しました。まずすべてのデータを暗号化した後、15 のシステムをすべて段階的に導入しました。これにより、影響と潜在的なリスクを軽減できました」

徹底的なデータ分析は、導入のフェーズで大いに役立ったと Brand 博士は話しています。「データフロー全体を包括的に把握していたので、一切変更作業を行うことなく Voltage SecureData をスムーズにアプリケーションに組み込むことができました。Voltage SecureData は、このような全社的な取り組みに適したエンタープライズ対応ソリューションです」

Voltage SecureData による サービスとしてのデータ暗号化

15 のアプリケーションが利用する 1,000 万件のレコード全体を暗号化し、サイバー攻撃からの保護を実現した Swisscom の Brand 博士は、今後の可能性を見越しています。「最初に

最もビジネスクリティカルなアプリケーションの保護を実現しましたが、このデータ中心のセキュリティのアプローチを活用できるアプリケーションはまだ多数あります。Voltage SecureData インフラストラクチャを使用したサービスとしての暗号化とコンピテンスセンターは、当社の成功のブループリントです。私たちのチームは、今回の経験を生かして、他の事業部門への導入プロセスをサポートできます」

彼は次のように締めくくります。「最初から経験豊富な統合パートナーと連携したことが成功の秘訣でした。Prewen には、最初の環境のセットアップからコンピテンスセンターのメンバーのトレーニングまで、さまざまな場面でサポートしてもらいました。彼らのサポートのおかげで、Voltage SecureData により、運用上の手間がほとんどかからない安定性の高いデータ中心のセキュリティソリューションを実現できました」